

永松だより

松源寺通信
第29号

開創1521年(大永元年)
2026年(505)

令和八年ご挨拶



新年明けましておめでとうございます。
今年も何卒宜しくお願い申し上げます。

ジェネレーションギャップ
と言いますが、これは世代による価値観・文化・常識・思想などの差(ズレ)を指す言葉です。

先日、お墓参りの方が井戸の水を出そうとガチャガチャ取っ手を動かしていました。しかし中々水は出ません。私がさし水をするとうま

よとお伝えしました。黒電話のかけ方が分からない世代。

大学生が固定電話で会社訪問などのアポ電話をするとか誰が出るかわからない?どう話せばいいか先生が指導するそうです。

松源寺は今年開創505年を迎えます。曹洞宗の教えを伝え、ご先祖さまのご供養を続け、みやくみやくと時を刻んでいます。曹洞宗では師匠から弟子へ相承(そうじょう)

といい茶碗の水を一滴も漏らさず次の茶碗に注ぐように何も足さず何も引かずその教えを伝えなさいと。

現代の生活が進化し身の回りの物がどんどん変わります。ギャップが出来るのは当たり前のことだと思いますが、きちんと伝え、昔ながらの事を継承するの忘れてはいけないのでは?

お釈迦様の教えは二千六百年を経ても色あせることなく、私たち仏教徒の生きる指針となっています。

今年は先代三十四世智貫孝善大和尚の十三回忌を迎えます。(別紙案内)

四十年に亘り松源寺を護持してきたことへ感謝の念と、これからの未来への祈りと共に、手を合わせ供養したいと思います。

令和八年 年間行事計画

一月一〜三日 三朝祈禱

二十六日 高祖降誕会(道元禅師の誕生日)

永松だより第二十九号発刊

二月十五日 涅槃会

(お釈迦様が亡くなられた日)
永松会・婦人会新年会

三月十一日 東日本大震災慰霊法要

二十日 3.11を忘れないコンサート
当山三十四世智貫孝善大和尚
命日

十七〜二十三日 春彼岸

四月八日 降誕会(お釈迦様の生まれた日)
婦人会総会

五月 永松会総会
研修旅行

六月 教区護持会研修会(特派布教道場)

七月十日 防災訓練(青葉土樋町内会共催)
永松だより第三十号発刊

八月十四日 孟蘭盆大施食会
(十三時三十分打出し)

九月二十〜二十六日 秋彼岸

二十六日 教区萬燈会
二十九日 両祖忌(道元禅師・瑩山禅師が
お亡くなりになられた日)

十月五日 ダルマ忌

十日 観音堂御開帳供養
秋の夕べコンサート

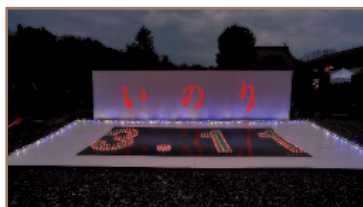
十一月

二十一日 太祖降誕会(瑩山禅師の誕生日)

二十三日 永代墓地供養祭

十二月八日 成道会(お釈迦様が悟りを
開かれた日)
永松会忘年会

令和七年 行事報告



東日本大震災慰霊法要
3・11を忘れない いのりの集い
Yaeコンサート

3月11日(火)



防災訓練
青葉土樋町内会共催
東北学院大学の生徒も参加

7月10日(木)



観音堂御開帳供養
伍芳 秋の夕べコンサート
古箏奏者 伍芳(ヘーファン)さん

9月23日(火)



永代墓地観音様の秋祭り
バザー・カレーの昼食・
南城さんの演奏

11月24日(月)

松源寺 まつまつ 9話

作馬茶一葉

「そういえば、
「木魚」って、
「もくぎょ」
って言うけど、
なぜ「魚」
なんだろう？」
「もももも、
これやれやれ。」

もともとは
やはり魚の形をした
「開楞（かいばん）」
と呼ばれる
時を知らせる
鳴らし物であった
そうで
その原型は
約六百年前の
室町時代から
あったとされて
います。
木の棒を
ここを叩く!!

魚を
用いた
由来は、
魚は
昼夜目を
閉じない
ことから、
「魚のように
昼夜を問わず
寝る間を惜しんで
修行に励むように」
という、修行僧への
戒めだそうです。

「全く
見えないネ、
(笑)」
「私も木魚の精だし、
ちよと並んでみよっかい。」
「どう？」
松

ネパール滞在記「ダルマデヴィ図書館竣工式参列」(その1)

2025年8月31日(8月29日～9月3日)

気温37℃の8月29日羽田空港第3ターミナルからシンガポール、チャンギ空港でトランジット。ネパール、トリバン国際空港に到着したのは日本時間で午前1時を過ぎていた。モンスーンの季節で雨が降っていた。宿泊先のノマドホテルでは日本人スタッフの杉戸さんが出迎えてくれた。これまでネパール支援の窓口として細やかに事務を進めてくれた方。何度かお会いしていたが現地で一緒するのは初めてだ。



翌8月30日は図書館事業のリソースセンターのあるダルマデヴィに向かう。

昨日到着した国際空港の隣には国内線の空港があり南東部にあるビラトナガル空港までブツダエアでのフライト。空からは田園地帯の平野が望まれた。上空高く飛んでいるはずだが、そもそも陸地が高いのか？地面が近く感じた。約1時間のフライトで到着した空港ではタクシー(自転車や電動の三輪車や古いワゴン車)の呼び込みをくぐり抜け、迎えのオフロード車に乗り込む。そこから約100キロの車移動、平坦な道なら2時間も要しないだろうが、ここはネパール。大きな山を2つ3つと越えるワイルディングロード、同じような作りの家々の村や曲がりくねった川をいくつも越える。クラクションを鳴らしながらヘヤピンカーブを曲がる、大型バスと連れ違い2人乗りのバイクを追い

越し、所々にある落石も避けながら進む手放しでは乗ってられない状態で、約5時間かけて到着した。

今日明日と泊まる Yare Lodge ホテルにはネパール事務所の萩原所長がすでにいた。昨日の外務省関係の行事の事務所処理をしていた。

現地で会うのは2年ぶり相変わらずパワフルで元気だ。おすすめのミルクティーを飲みながら簡単に明日の打合せをしチェックイン。19時に地ビールを片手に夕食を取りながら3人でネパールの支援状況やシャンティの運営などについて話した。(次回へ続く)

シャンティ国際ボランティア会
理事(住職東海記)

大輝のつぶやき

新年あけましておめでとうございます。
宗務所にて学んでおりました梅花指導者養成所も今年度で最後となりました。
昨年の十一月に行われました検定会では無事四級師範に合格致しました。
法具の房の色も水色から白色に変わり一層身が引き締まる思いです。
本年も当寺の行事の中で梅花をお唱え出来ればと存じますので宜しくお願い致します。

告 知

東日本大震災慰霊法要

3・11を忘れない いのりの集い

古謝美佐子 コンサート in松源寺

15:45～ 慰霊法要 [本堂]

16:10～ 17:10 コンサート [庫裏]

キャンドルナイト 17:30点火 [境内]

古謝美佐子 (こじあみさこ) プロフィール



1954 年沖縄県嘉手納町生まれ。沖縄民謡女性歌手。9才でレコードデビュー。86 年より坂本龍一のユニットに参加。90 年より女性 4 名沖縄民謡グループ「ネーネーズ」にリーダーとして参加し 6 枚のアルバムなどを発表。1995 年末に脱退後ソロ活動開始。ソロ CD「天架ける橋」「廻る命」は高く評価され自作詞の子守歌「童神」は多くの歌手にカバーされ 21 世紀の沖縄民謡の代表曲となる。

また「うないぐみ」の活動では 1 枚のアルバムと坂本龍一との共作シングル「弥勒世界報」を発表。

その他、文楽人形やモンゴル 800 など他アーティストとのコラボ公演や CD 参加、映画「洗骨」出演 (2019)、首里城守礼門にてヨーロッパと共演 (2021) など活動は多岐に渡る。

初録音から 60 年目の 2023 年にソロ CD「平和星☆願い歌」を、2024 年にはユニット「古玉優海」のシングル CD を発売した。



◆ 一 華 五 葉
い っ か ご よ う
◆

年会費
3,000円

会 監 監 副 会
計 査 査 会 長

婦人会役員

東 戸 戸 山 及 宮 佐 山 梅
海 田 田 内 川 沢 藤 内 原
貴 詩 ト 美 裕 ハ 廣 陽 み
代 子 シ 津 子 マ 子 子 ち
美 子 子 枝 子 子 子

年会費
10,000円

会 副 会
計 会 長

永松会

宮 竹 佐 橘 植 石 木 高
澤 丸 野 橋 木 田 皿 橋
洋 武 正 尚 憲 和 信 金
一 志 人 朗 郎 洋 吉 雄